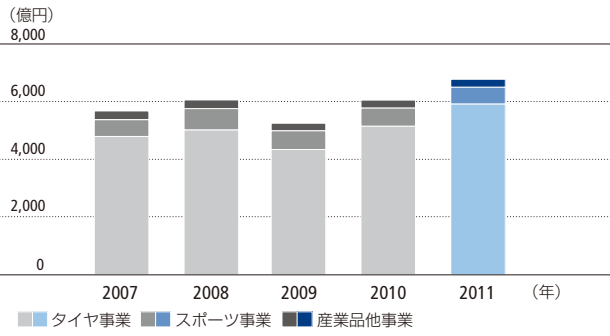


売上高

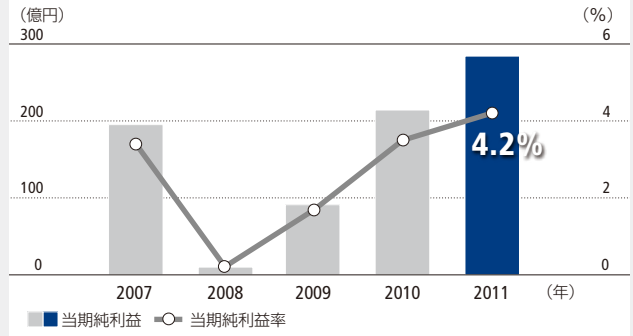
6,769億円 前期比 +12.0%



売上高は、主力のタイヤ事業において国内外での販売が好調に推移したことから、前期比12.0%増の6,769億円となりました。

当期純利益および当期純利益率

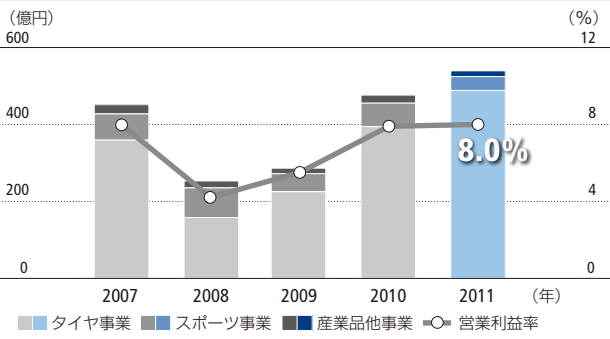
284億円 前期比 +32.5%



当期純利益は、東日本大震災および霧島山新燃岳の噴火に伴う損失を約47億円計上したものの、前期比32.5%増の284億円となりました。

営業利益および営業利益率

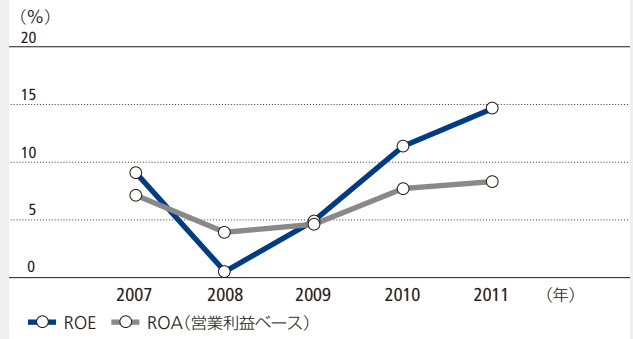
539億円 前期比 +13.4%



営業利益は、主力のタイヤ事業において、原材料価格が上昇したものの、販売価格への転嫁や販売数量・構成の良化により増益を確保したことから、前期比13.4%増の539億円となりました。


ROEおよびROA

ROE **14.7%** 前期比 +3.3pt ROA **8.3%** 前期比 +0.6pt



ROEは前期比3.3ポイント上昇し14.7%となりました。ROAは総資産の増加により0.6ポイントの改善にとどまり、8.3%となりました。

2011

- 1月** 企業 業界初 環境マネジメントシステム (ISO14001)のグローバル統合認証を取得
- 3月** タイヤ 中国で2カ所目となるタイヤ工場の起工式を湖南省長沙市で実施 
- タイヤ 東日本大震災により白河工場が被災
- 企業 代表取締役会長に三野哲治が、代表取締役社長に池田育嗣が就任

4月 タイヤ 白河工場が震災前と同水準の稼働状況に復旧

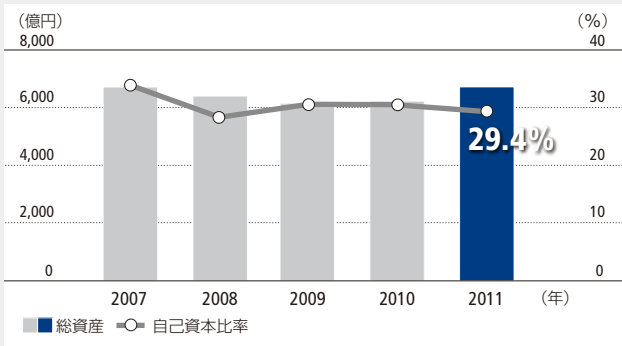
5月 タイヤ ブラジルにタイヤ製造子会社を設立



10月 タイヤ 特殊吸音スポンジ搭載の低燃費タイヤ「LE MANS 4 (ル・マン フォー)」がグッドデザイン賞を受賞

総資産および自己資本比率

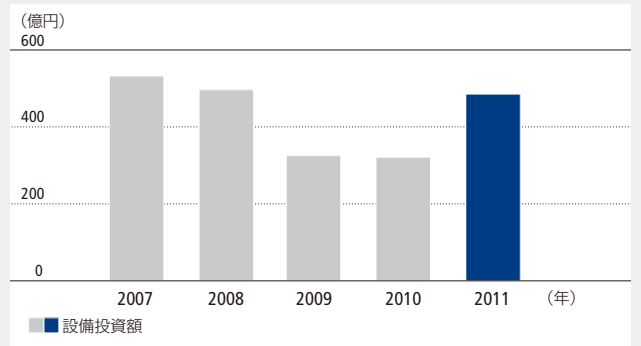
6,716億円 前期末比 +494億円



総資産は、原材料価格の上昇に伴いたな卸資産が増加したことから、前期末比494億円増の6,716億円となりました。

設備投資額

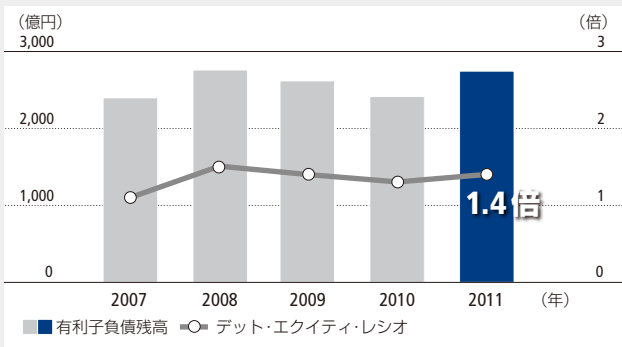
485億円 前期比 +165億円



設備投資額は、前期比165億円増の485億円となりました。主な内容は、タイヤの生産能力増強のための設備投資です。

有利子負債残高およびデット・エクイティ・レシオ

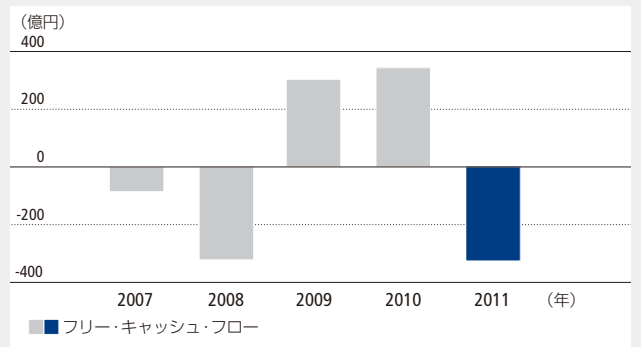
2,742億円 前期末比 +330億円



借入金の返済や社債の償還を行う一方、新規借入や社債の発行による資金調達を行った結果、有利子負債残高は前期末比330億円増の2,742億円となりました。

フリー・キャッシュ・フロー

(326)億円 前期比 -669億円



フリー・キャッシュ・フローは、生産能力拡大に伴う有形固定資産の取得などによる支出が、税金等調整前当期純利益や減価償却費などによる収入を上回り、326億円のマイナスとなりました。

12月 スポーツ

ゴルフクラブ「ゼクシオ」の7代目となる「ゼクシオセブン」ゴルフクラブを発売



タイヤ

「100% 石油外天然資源タイヤ」のプロトタイプが完成



タイヤ

ラベリング制度の転がり抵抗性能で最高ランク「AAA」を実現した低燃費タイヤ「エナセーブ PREMIUM(プレミアム)」を発表



タイヤ

新材料開発技術「4D NANO DESIGN (フォーディー ナノ デザイン)」を確立



企業

「トムソン・ロイター 2011 Top100 グローバル・イノベーター・アワード」に選定

